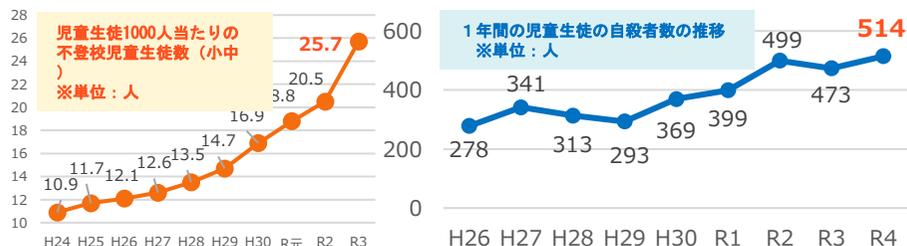


Learn and Increase Self-awareness To Ease the Nerves with GIGA device

## 背景・課題

- いじめや不登校、児童生徒の自殺が増加する中、**児童生徒の心や体調の変化を把握し、児童生徒が発するSOSを早期に発見して対処していくことが重要。**
- これまでは、教職員によるスクリーニング、児童生徒からの訴えなどを通じて児童生徒のSOSを把握していたが、**既にいじめや不登校、自傷、自殺といった具体的な問題として表面化してしまっているケースも多い。**
- 児童生徒の心身の状況を把握し、**メンタルヘルスの悪化や小さなSOS、学級の変容などを教職員が察知でき、また、児童生徒がSOSを発信しやすい仕組みを構築することで、早期発見早期対応を可能とし、問題が表面化する前から積極的に支援につなげていくことで未然防止を図る必要。**



## 目指すべき姿

- 「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」や「こどもの自殺対策緊急強化プラン」を踏まえ、**全ての学校において、1人1台端末等を活用した「心の健康観察」を実施し、児童生徒のメンタルヘルスの悪化やSOSを早期に把握し、SCやSSW、養護教諭等とも把握した情報を共有しつつ、チームで支援を実施する体制構築を目指す。**
- アプリ等を用いてエビデンスに基づく具体的なリスク予測が可能となり、児童生徒の言動や教職員の目では分からない小さなSOSを把握し、早期支援につなげる。**

### <不登校対策に係る取組状況調査：R5.2実施>

- アプリ等を用いた児童生徒の心や体調の変化の把握を行っている自治体  
⇒都道府県：29 市町村：411
- 今後アプリ等の活用を検討している自治体  
⇒都道府県：10 市町村：580
- アプリ等を用いておらず検討もしていない自治体  
⇒都道府県：8 市町村：771



## 事業概要

### ① 1人1台端末等を活用した「心の健康観察」の導入推進【委託】 632百万円

- 1人1台端末等を活用して、児童生徒の心や体調の変化を把握し、メンタルヘルスの悪化や児童生徒が発するSOSの早期発見・早期支援につなげる「心の健康観察」の導入を推進。

### ② 「心の健康観察」の活用による問題行動等の未然防止に向けた予防的指標の開発等調査研究【委託】 4百万円

- ICTの活用により把握した心身の健康状態と問題行動等を調査・分析し、科学的根拠に基づく不登校や自殺等の予防的指標の開発や関係機関等とのデータ連携に係るモデル構築を推進。

#### 委託先

- 都道府県・指定都市等
- 地方公共団体又は民間事業者

#### 実施主体

学校設置者（市区町村及び私立は、都道府県経由）

#### 委託対象経費

- パイロット校のアプリ導入費用、パイロット校導入に係る検討費用、教職員への研修や域内の全学校への普及に係る費用
- 調査研究に係る検討費用やデータ分析費用